

平成30年度生駒市立緑ヶ丘中学校部活動運営方針

「夢は持つもの、努力は続けるもの！」

生駒市立緑ヶ丘中学校

平成30年7月

本校における部活動の意義

部活動の目標は、クラスや学年を離れ共通の趣味や関心を持つ同好の生徒が集まり、教員の指導の下に自主的・自発的に活動するものであり、有効な教育活動として捉えている。

その活動の目的は勝利至上主義や、成果だけを追究するものではなく、生徒の心身の調和がとれた発達と個性の伸長を図るとともに、生涯にわたって豊かな趣味や特技を持ち充実した生き方を求めていく心身の基礎づくりを行うこととする。

部活動設置の位置づけ

部活動は、生徒が主体の活動であり、部活動の設置については特別な種目の指導ができる教員が配置されたからと行って新たな部活動を置くことはない。また、一時的に部員が少なくなった場合や、指導できる教員がいなくなったからという理由で部活動を廃止することもない。既存の部活動を大切にし、より多くの生徒が体験できる一般的な種目の部活動を設置する。

本年度の部活動の指導体制

平成30年度に本校で活動する部活動・顧問は、下の表に示すとおりである。

顧問は各部に複数配置し、対外試合や校外での活動で緊急の事態が起こっても1人の教員が対応するのではなく、複数の教員がこれにあたる。

また、生徒数減による教員数減による顧問不足については、運動部と文化部の顧問又は男女の掛け持ちすることで対応する。

平成30年度 緑ヶ丘中学校部活動担当者（運動部）

女子バレーボール	森川・一・校長	男子ハンドボール	菅沼・大垣
野 球	小川・西本	女子ハンドボール	平田
女子ソフトボール	五十嵐・泉谷・教頭	女子バドミントン	増田・奥谷
男子バスケットボール	高井・中西	男女ワンダーフォーゲル	坂本・橋本
女子バスケットボール	西野・中西	サッカー	岩井・槌野

平成30年度 緑ヶ丘中学校部活動担当者（文化部）

美術部	一・加瀬	茶 道	宮川・富野・大西（向井）
吹奏楽部	清水・長本・西藤	将 棋	西本・富野
科 学	渡邊・岩井・加瀬		

外部指導者の導入については人物的に中学生の指導や学校の基本方針を理解し指導していただける人材を県費・市費で可能な範囲で導入する。また、学生や一時的な指導についても校長が認めた指導者であれば活用する。

※参加の大会について生徒の健康に無理がないよう精査する。

練習時間・休養日・泊を伴う大会参加について

○練習時間

- ・平日は2時間程度
- ・土日、休日、長期休業日は3時間程度

○休養日

- ・学期中は、原則、週当たり2日以上休養日を設ける。
(平日は少なくとも1日、週休日は少なくとも1日以上を休養日とする。週休日に大会等に参加した場合は、他の日に振り替える。)
- ・長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒や教員が十分な休養が取れることができるとともに、部活動以外にも多様な活動ができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。

※警報発令日の活動については、通常の授業時と同様のあつかいとし、部活動の途中で警報が発令されたときは生徒の下校ルートを確認し、学校で待機させるか帰宅させるかを判断する。

○近畿大会・全国大会等泊を伴う大会参加については、特例として参加の判断をする。

部活動の安全管理について

- ・活動の前後だけでなく、活動中にも生徒の様子を観察し、健康状態の把握に努める。また、生徒一人ひとりの体力・運動能力に応じた指導を心がける。
- ・定期的に施設・設備等の安全点検を実施し、破損等があれば使用中止、補修などの措置を速やかにとる。また、器具の使用方法についての指導を徹底し、安全に活動できるようにする。
- ・高温下での活動では、熱中症対策を十分に行いWBGT値を測定し、規定の数値(31)以上になった場合は活動を停止し、生徒の健康チェックを実施する。
- ・週休日の活動には、保護者記入の健康チェックカードを点検し、生徒の健康面を把握する。
- ・平日・週休日の活動ともに保護者との連携を密にして生徒の健康・心の変化を教員と保護者が共有できるようにする。
- ・大会等市外・市内への移動は公共交通機関・貸し切りバス等を必ず使用する。
- ・部活動中にケガや病気が発生した場合の病院への搬送については、教員の自動車を使用できないため保護者に依頼するか、タクシー券を使って移動する。
- ・「体罰・不適切な行為は重大な人権侵害であり、絶対に許されない行為である。」という認識のもと、学校全体で体罰の根絶に向けた取り組みを推進する。

部活動をする生徒の心得

部活動は、そのスポーツ・文化・芸術が好きな生徒が集まり互いの心身を高め合うための場です。礼儀やルール・技術を学び全ての生徒が同じ目的に向かって成長を続けることができる場でもあります。そのため、先輩は後輩に知らないことや技術を教え、部の良き伝統を伝えなければなりません。後輩はそのことに感謝し、また次の後輩にその良き伝統を引き継がなくてはなりません。勉強は自分ひとりの力で成し遂げなければならない課題ですが、部活動は、友達や先輩・後輩と共に先生の指導の下、同じ夢に向かってゆくことができる組織です。緑ヶ丘中学校の部活動で学んだことが自分の人生の糧になるようにしてください。また、ここは君たちが生まれ、育った地です。大人になりこの地を離れても夢を追い続けた仲間との縁は一生の宝です。先輩・後輩・仲間を大切にして、よい思い出ができる活動をしてください。

平成30年7月
生駒市立緑ヶ丘中学校
校長 前川 尚志